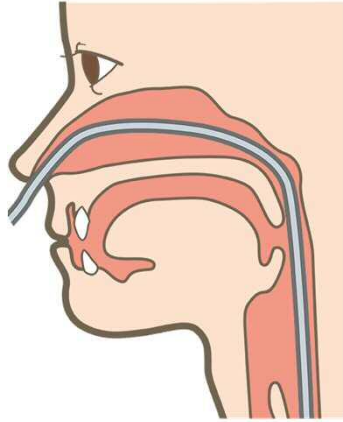
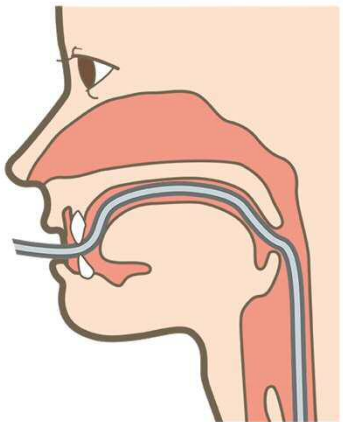




経鼻内視鏡検査と経口内視鏡検査の特徴

	経鼻内視鏡検査	経口内視鏡検査
挿入経路	 <p style="text-align: center;">経鼻内視鏡</p>	 <p style="text-align: center;">経口内視鏡</p>
内視鏡の外径	<p style="text-align: center;">5～6mm程度</p> 	<p style="text-align: center;">8～9mm程度</p> 
内視鏡の画質	通常の検査では十分な画像	より精密な検査に適した高画質
治療・処置	△ (組織採取や簡単な治療が対応可能)	○ (高度な治療にも対応)
麻酔（前処置）	<ul style="list-style-type: none"> • 鼻の通りを良くする薬を噴霧した後鼻に麻酔をかける。 • 鎮静剤は使用しない。 	<ul style="list-style-type: none"> • のどに麻酔をかける。 • 治療のために検査時間が長くなる場合や反射が強い場合、患者様の同意を得て鎮静剤を使用することがある。
検査中のつらさ	<ul style="list-style-type: none"> • 嘔吐反射が少ない。 • 鼻腔が狭い場合などでは、痛みを感じることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 嘔吐反射がある。 <p>※鎮静剤を使用した場合には、つらさが軽減される。</p>
検査中の会話	○	×
検査中の注意点/副作用	<ul style="list-style-type: none"> • 鼻腔が狭い場合、挿入できないことがある。 • 鼻出血する場合がある。 	<p>※鎮静剤を使用した場合、稀に副作用が起こる場合がある。</p>
検査終了後の注意点	<ul style="list-style-type: none"> • 検査後に異常がなければ、すぐに帰宅できる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 検査後に異常がなければ、すぐに帰宅できる。 <p>※鎮静剤を使用した場合、検査後1時間程度は医療機関で安静にしている必要がある。また、検査当日は、車の運転等ができない。</p>